

評議会だより

第四六九回評議会

平成六年七月十二日(火)

(新評議員の紹介)

歯学部 教授 土肥 敏博  
歯学部 教授 高田 和彰  
国際協力研究科長 山下 彰一

(本館新任者の紹介)

厚生課長 白倉 英利(前 山口大学入試課長)

(教員選考報告)

総合科学部 戸田 昭彦(基礎科学研究)

理学部

助教 藤原 昭文(分析化学)

助教

小原 政信(発生生物学)

歯学部

教授 柴 芳樹(口腔生理学)

助教

菅井 基行(口腔細菌学)

生物生産学部

教授 ナラシマル・ラジェンドラン

大学院国際協力研究科

教授 山下 彰一(開発計画)

教授

杉恵 頼寧(開発計画)

教授

竹内 常善(開発計画)

教授

金原 達夫(開発計画)

教授 岩田 光正(開発技術)

教授 齊藤 公男(開発技術)

教授 富永 晃司(開発技術)

教授 吉村 幸則(開発技術)

教授 野原 光(社会動態)

教授 金 範柱(社会動態)

助教 松岡 俊二(開発計画)

助教 藤原 章正(開発計画)

助教 山本 春行(開発技術)

助教授 熊谷 元(開発技術)

助教授 中達 啓示(社会動態)

原爆放射能医学研究所

附属国際放射線情報センター

助教授 宇吹 暁

助教授 星 正治

(報告)

一、法学部及び経済学部第二部の存置について  
東千田キャンパス正門から向かって右側の  
一万三〇〇〇平方メートルの区域が、本学の敷地と  
して残ることになった旨の報告があった。標  
記第二部は昼夜開講制に改組されて存続する  
予定。

二、平成八年度入学者選抜方法等について  
入学者選抜方法検討委員会から、平成八年  
度入学者選抜方法等に関する答申についての  
報告があった。本答申に係る事項については、  
今後各学部で検討を進めることになった。

三、広島大学長選考規程等検討委員会委員及び  
広島大学名誉教授等規程等検討委員会委員  
の交替についての報告があった。

(議事)

一、広島大学長選考規程及び広島大学長選考規  
程実施細則の改正について  
いずれも大学院国際協力研究科の設置に伴  
う改正であって、原案のとおり承認した。

二、広島大学大学院国際協力研究科の設置に伴  
う関連規程の整備について  
附属図書館長選考規程及び学生部長選考規  
程の改正を、原案のとおり承認した。

(報告)

一、広島大学計画委員会委員について  
学長より、次の八名の委員を選出した旨の報  
告があった。

赤川 安正(歯学部・教授)

荒井 克弘(大学教育研究センター・教授)

位藤 邦生(文学部・教授)

目下部 治(工学部・教授)

佐藤 清隆(生物生産学部・教授)

生和 秀敏(総合科学部・教授)

谷口 雅樹(理学部・教授)

二宮 皓(教育学部・教授)

臨時評議会

平成六年七月二十六日(火)

(報告)

広島大学計画委員会委員について  
学長より、次の八名の委員を選出した旨の報  
告があった。

赤川 安正(歯学部・教授)

荒井 克弘(大学教育研究センター・教授)

位藤 邦生(文学部・教授)

目下部 治(工学部・教授)

佐藤 清隆(生物生産学部・教授)

生和 秀敏(総合科学部・教授)

谷口 雅樹(理学部・教授)

二宮 皓(教育学部・教授)

(五十音順)

(議事)

平成六年度当初予算配分について  
原案のとおり承認された。

(報告)

一、交通事象に関するアンケート調査を実施  
本学は統廃する学生の交通事象に苦慮しているが、  
学生委員会では、交通安全教育の手がかりを得る  
ため九月にアンケート調査をすることになった。  
対象は教育学部、工学部、経済学部、医学部(医  
学科)の三年生。

(報告)

一、原爆放射能医学研究所に客員教授  
力ザフスタン共和国カザフ放射線医学研究所主任  
研究員 ローゼンソン・ラファエル・ジョシイフォ  
ビッチ氏を平成六年度客員教授に任用。

(報告)

一、教官定員が若干増える  
大学院研究科の新設、医学部保健学科の学年進行  
などにより、本学の平成六年度教官定員は一九六  
九名で、昨年度より三十一名増(教授十五名増、  
助教教授六名増、講師一名減、助手十名増、教諭一  
名増)となった。

#統合移転完了記念事業の準備が進む

七月十九日の統合移転記念事業実行委員会  
で、記念事業の部会(記念武典・祝賀会部会、  
スピーチコンテス部会、地域と協力したイ  
ベント部会、国際シンポジウム部会、記念品  
部会、広報部会)ならびに各部会の担当部局  
が決まった。実施期間は平成七年十一月一日  
(火)から十一月五日(木)まで。

#電力消費三十四%アップ

西条キャンパスでは、七月の使用電力が契  
約電力五二〇〇キロワットをオーバーして六  
九七〇キロワットとなった。

#事務機構 大幅な整備へ

統合移転の完了を機に、事務機構の全学的  
な見直しが行われ、事務局・学生部の一元化  
についても検討される予定。

#平成七年度概算要求上の特記事項

一、国際協力研究科教育文化専攻の新設、遺伝  
子科学専攻(博士課程)の新設、法学部・経  
済学部第二部の昼夜開講制への移行、アイソ  
トープ総合センターの新設、地域共同研究セ  
ンターの新設、本部庁舎の新築等が主なもの。

#国際協力シンポジウム開催される

九月十六日(金)、本学大学院国際協力研究科  
創設記念・国際協力事業団設立20周年記念と  
して、国際協力シンポジウム「アジアの人づ  
くりと地方の国際協力」が広島国際会議場  
で開催された(主催―広島大学・国際協力事業  
団、後援―広島県・広島市・東広島市)。

まず、国際協力事業団総裁 藤田公郎氏か

ら「日本の経済協力」と題して基調講演があ  
り、引き続き、パネラーとして、高等教育研  
究所所長 天野 勲氏、埼玉大学大学院政  
策科学研究所教授 西野文雄氏、(株)モルテン  
代表取締役社長 民秋史也氏とオイスカ産業  
開発協力団会長 中野良子氏の四氏に、コー  
ディネーターとして山田国際協力研究科長が  
加わり、パネルディスカッションが行われた。